

やまがたウーマノミクス・ネットワーク Letter

ウーマノミクス

とは、women(女性)とeconomics(経済)から成る造語で、女性の活躍により経済の活性化を目指す取組みのことです。

やまがたウーマノミクス・ネットワークフォーラムのご報告

～自分らしい輝き方を見つけましょう～

日時 令和元年 11月28日(木) 13:30～17:00

会場 パレスグランデール 2階 エアル 山形市荒橋町1丁目17-40

第1部

講演&トークセッション

講演：人生100年時代のキャリア戦略
～仕事も私生活も自分らしく幸せに～

講師：麓 幸子さん
作家・ジャーナリスト(日経ウーマン元編集長)



■プロフィール
2006年日経ウーマン編集長を経て、2012年ビジネス局長。日経ウーマン、日経ヘルスなど3媒体の発行人となる。2016年日経BP社執行役員。2018年日経BP総研フェロー。2019年退社。現在は故郷の秋田県大館市を拠点に活動。大館市の未来を創る会代表、一般社団法人敬友代表理事。主な著書『地方を変える女性たち』2018、『仕事も私生活もなぜかうまくいく女性の習慣』2017他

吉村知事かっこいいですね。全国で女性知事はお二人、そのなかでウーマノミクスを提唱されているのは吉村知事、だからみなさんは幸せなんです。私は日経ウーマン編集長時代に、吉村知事にウーマンオブザイヤーというアワードを授与させていただきました。

今日は、①取材で得た知見、②学術的に証明された理論、③自分の経験、この3つの立場でお話します。

いまは未来が予測不能な時代。それは「VUCAの時代」と呼ばれています。第4次産業革命、人口減少社会、人生100年時代といままで経験したことがない時代に生きるようになります。「誰かがなんとかしてくれる」「会社がなんとかしてくれる」という古いメンタリティではもう乗り切れない。重要なのはキャリア自律。だから、私は50歳で大学院に入ったのです。

今、女性はイノベーションを創り出して組織を成長させるキーパーソンとして、活躍が求められているんです。政府は「女性活躍」を2016年から成長戦略の柱としました。働き手が足りなくなるからではなく、今後は質的な観点のほうが大事だと思うんです。

VUCAの時代にはリスク管理能力や変化適応能力が高い女性の能力が求められているんです。男性のように働くことではなく、女性が自分の個性を活かしながら仕事をする。仕事だけでなく、意思決定に関わる。あなたの会社の取締役会を思い浮かべてください、50代以上、日本人、男性というモノカルチャーでは同じ価値観、行動様式だからアンテナも同じ発想になってしまいます。英国のある機関の研究によると、男性だけの取締役会に女性が一人入るだけで経営破綻リスクが20%以上下がるそうです。つまり女性は男性と違う行動様式だから、それを受け入れることで多様性がでてくるということなんです。

ロールモデルによる事例紹介

テーマ：職場復帰に向けて
～行動をおこす「誰か」になる～

事例紹介：大内 真里生さん
株式会社シェルター総務部・秘書広報室 chief



テーマ：プライバシーに配慮して
プライベートにしっかり向き合う
事例紹介：金澤 恵美さん
株式会社ジョイン グループ企画課 係長

大内真里生さんは1月にご出産され現在育児休暇中です。来年1月に職場復帰予定です。ところが12月にならないと保育園に入れるかどうかかわからないという状況です。当事者になって初めて、子どもは問題なく預けられるのかな…。即戦力として戻れるのかな…と職場復帰に不安を感じた体験からお話いただきました。

金澤恵美さんからは、わたし流の部下との関わり方は、プライバシーに配慮しつつプライベートにしっかり向き合うこと。結婚の予定や家族計画、妊娠の希望時期など、「え!? そんな事まで聞いてちょうの?」ということまでしっかりと聞きます。ギラギラして積極的なリーダーでなく、ちょっとスキのあるリーダーの方が相談しやすいのかなと思います。とお話いただきました。



～メッセージ～

私は以前から女性も活躍すると経済が活性化するというウーマノミクスを提唱しています。
女性が、ではなく、女性もです。
皆さんと一緒に取組みを進めてまいりましょう。

山形県知事 吉村美栄子



第2部 テーマ別分科会

分科会では、参加者の関心のあるテーマごとに分かれて意見交換を行いました。テーマの内容とテーマごとの参加率は以下の通りです。

(A) ワーク・ライフ・バランス	39%
(B) 部下とのコミュニケーション・人材育成	20%
(C) 産後の職場復帰	5%
(D) 人の巻き込み・他との連携の仕方	31%

テーマの内容を絞り込んで話しやすくするために、各テーブルにファシリテーター役を配置して、最初に話し合いをリードしてもらいます。参加者からこのテーマを選んだ理由を話していただき共通性を探して、5人ぐらいの小グループに分けて話します。

できるだけリラックスして話せるように、ファシリテーター役の方には、場を仕切らずに、自由な対話（ダイアログ）が醸成されるような雰囲気をつくっていただきました。

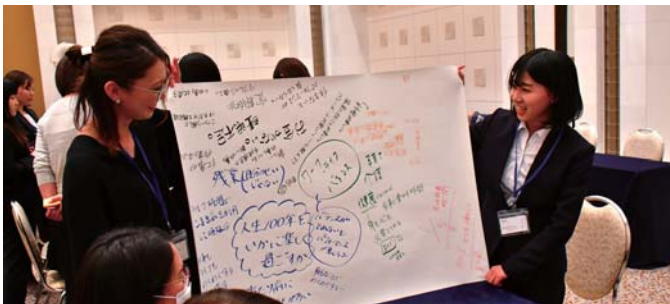


テーブル上の模造紙に、タイトルを大きく書いて話し合いをスタートします。講演やロールモデルの事例発表を聞いて共感したところ、疑問に思ったところ、ご自身の経験などを話して、それを、他の参加者が模造紙に書いてあげることで、話が可視化できるところがポイントです。単に話し合っただけでなく、記録に残すことで振り返りができます。

最後に、話し合った内容をテーブル同士でお互いに発表して頂きました。同じテーマでも、メンバーが変わればおのずと話す内容も違ってくる。5人ずつだからこそ深く話せたのではないのでしょうか。みなさんとても楽しそうだったのが印象的でした。

■ファシリテーター役としてご協力いただきました皆さん

井上 弓子さん	高島電機株式会社 代表取締役会長
鈴木 直子さん	株式会社荘内銀行営業推進部 シニアマネージャー
藤田 千波さん	第一貨物株式会社 人事部主査
藤田美和子さん	NHK山形放送局長
横山 晃子さん	株式会社あじまん営業本部チーフトレーナー兼スーパーバイザー
大内真里生さん	ロールモデル事例発表者
金澤 恵美さん	ロールモデル事例発表者
麓 幸子さん	講師、コーディネーター



第3部 交流会

松田明子山形県子育て推進部長の挨拶後、和やかに交流会がスタートしました。早速、名刺交換や情報交換がはじまりました。山形の秋のフルーツをふんだんに使った見るからに美味しそうなスイーツがビッフェにいっぱい並んで、甘い香りに包まれた会場でみなさんとても楽しそうにご歓談いただきました。

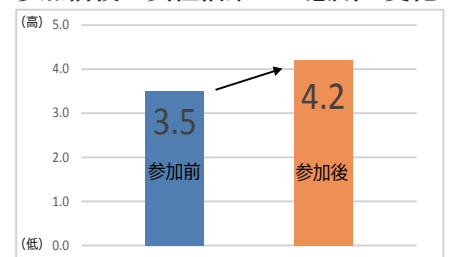
会場には、分科会の模造紙を掲示したり、出演者の方々にメッセージを送るポートを用意して、和やかな雰囲気の中、笑い声が絶えない女性ならではの華やかで素敵な交流会となりました。



参加者の声

- ・自分の働き方に不安があるところもありましたが、色々な方の意見を聞き、自分のペースで良いのだと思えるようになりました。
- ・講師の選び方がとても良かった。自身の体験と理論の組み合わせで。
- ・勇気もらい、背中を後押ししていただいた気がします。更に前を向いて高いところを目指したいと思います。
- ・交流会では皆さんが和やかで初対面でもあたたかく、とても良い雰囲気でした。貴重な機会をありがとうございました。
- ・とても緊張しましたが異業種の方と交流できる貴重な機会でした。参加してよかったと心から感じました。
- ・全体的に時間が足りなかったことだけが残念でした。
- ・初めての方々とのグループワークは緊張でしたが、興味深く、思いのほか盛り上がりよかったです。
- ・話の内容が難しくなく、とてもずっと入ってきました。まず、やるべきことが1つ見つけられました。

参加前後の女性活躍への意識の変化



設問：①参加前「女性活躍」への意識はいかがでしたか？
②参加後「女性活躍」への意識はいかがでしたか？

お問い合わせ

山形県子育て推進部若者活躍・男女共同参画課 TEL 023-630-2101
〈発行〉 令和元年 12月

〈主催〉 山形県
〈委託先〉 株式会社アイサイト